

Voice

参加学生の声

※学科横断プログラム
修了者アンケート結果より

大学選びのきっかけに

他学生と学科を超えて一緒に活動することができ、貴重な体験ができました。高校時代に相模女子大学のパンフレットを拝見し、このプログラムを学びたいと思い入学しました。コロナ禍でしたがこのプログラムを行うことができ、大変なこともありましたが楽しかったです。また、先生方や企業様のお話を聞くこともでき、このプログラムに挑戦して良かったと感じました。

幅広い知識と視野

他学科の興味のある授業を履修でき、自分の将来の選択の幅が広がったと思います。実際の就職先と業界は違いますが、自分の役に立つと思います。

特別講座： 業界を知る、仕事を知る

業界人との懇談会では、観光業にはどのような仕事があり、どのように活躍ができるのかを知るきっかけとなり、改めて自分の進路を考える良い機会となりました。

「食品開発と流通ビジネスプログラム」修了

食品の企画開発という夢を叶える第一歩に

児玉 萌さん

人間社会学部 社会マネジメント学科 4年
(取材当時)
神奈川県立住吉高等学校出身



食べるのが好きだったことに加え、学科の授業「地域で学ぶ社会のしくみ」を受講したことで、食品の商品企画や開発に興味をもちました。学科横断プログラムの「食品開発と流通ビジネス」プログラムで食と商品企画を同時に学べると知り、いまいっばん勉強したいことだと参加を決めました。第一線で活躍されている業界人の講話は「なるほど」と思うことの連続で、「清川村プロジェクト」では企画から販売まで一連の流れを経験できました。プログラムに参加したことで将来の目標がより明確になり、希望していた小売業界の企業への内定も決まりました。

「観光とホスピタリティ・ビジネスプログラム」修了 (現 観光ホスピタリティ・キャリアプログラム)

ホテル業界への就職を目指し受講 多様な学びと経験が得られました

渡部 美紀さん

学芸学部 英語文化コミュニケーション学科 4年
(取材当時)
私立トキワ学園高等学校(東京都)出身



観光の学びを深めたい。ビジネスの知識も修得したい。社会で役立つ実践力を身に付けたい。この3つが学科横断プログラムを活用しようと思った理由です。プログラムでビジネス・プレゼンテーションを重ねるたびに情報発信力が高まり、他学科の学生の発表も大きな刺激になりました。何度も富山県に通い、地域の幅広い年齢層の方々と触れ合ったことでコミュニケーション力が大きく向上したことを実感しています。学科横断プログラムでの多彩な経験をアピールして、外資系リゾートホテルへの就職を叶えました。

学科を超えた学び

興味のある分野を幅広く学べたことは、この大学に入学して良かったことの大きな1つです。学科横断制度そのものはもちろん、サブカル系をここまで深く学べる大学はなかなか他にないと思います。成果物をその分野のプロにお褒め頂けたことはとても嬉しく、「学んだことは無駄じゃなかった」と誇りにもなりました。

卒業後の展望

「地域活性化」は市役所職員の大切な役割の1つだと思うので、大学で学んだ映像の知識をシティブロモーションに活かしていきたいと思っています。

学科横断プログラム参加者の 主な就職先 (順不同)

ローソン/千疋屋総本店/豊島屋/
大戸屋/ライフコーポレーション東京本社/京王プラザホテル/伊豆急行/三井不動産ホテルマネジメント/JTBビジネストラベルソリューションズ/ANAエアポートサービス/ザ・リッツ・カールトン沖縄/トラストネットワーク ほか多数

学科横断プログラム (副専攻制度)



キャリア実現のための「学科横断プログラム」
副専攻制度



相模女子大学公式サイト
「学科横断プログラム」紹介ページ



相模女子大学

お問い合わせ 大学事務部 入試課
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
フリーダイヤル 0120-816-332 Tel.042-749-5533



PROGRAM 1 食品開発の道へ進みたい! 食品開発と流通ビジネスプログラム



PROGRAM 2

観光業に就職したい! 観光ホスピタリティ・キャリアプログラム



PROGRAM 3 サブカルのプロに! サブカルチャーと文化創造プログラム



PROGRAM 4

ケアとサポートのプロに! こどもとこころ 発達支援プログラム



希望のキャリアを実現するための

学科横断プログラム 副専攻制度

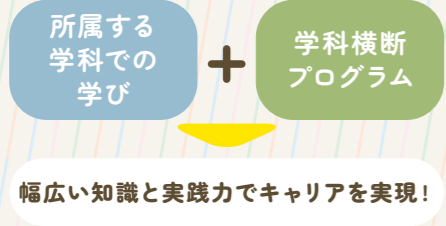


相模女子大学

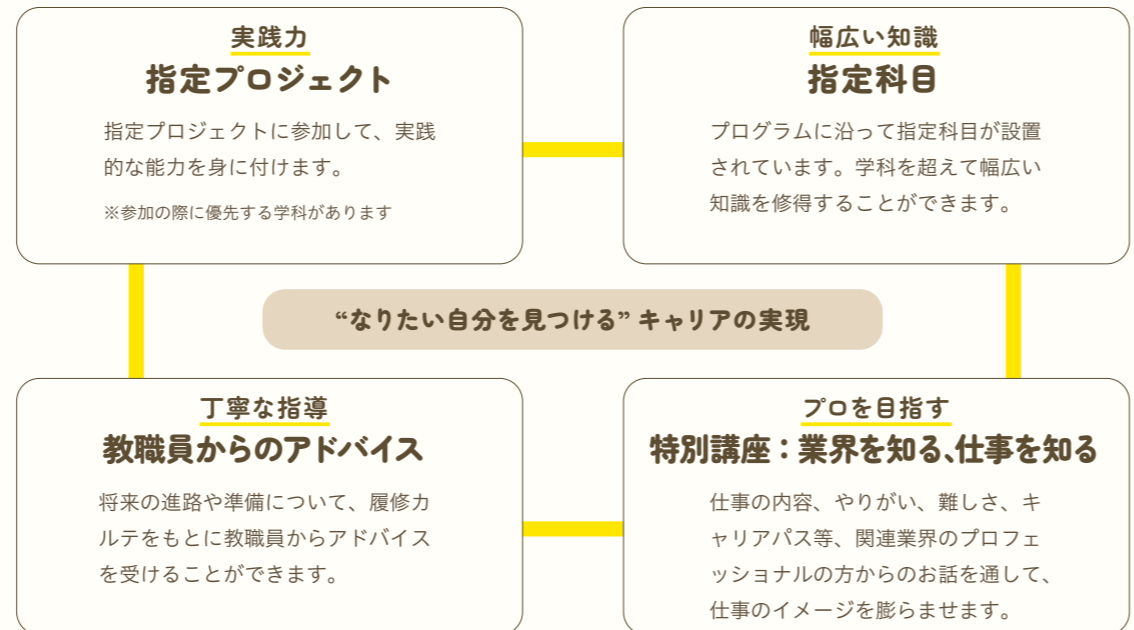
125th Anniversary
since 1900

キャリア実現のための「学科横断プログラム」

相模女子大学では、
各学部・学科の学習に加えて、
学科を横断した4つの「プログラム」を
選択することができます。
学科での学びをベースに、
学科を横断して学ぶことで、
就職に向けた幅広い知識と
実践力が身に付きます。

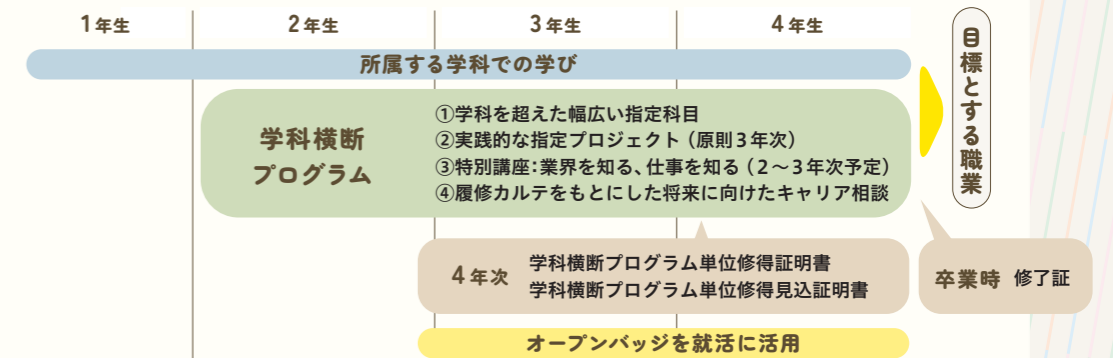


学科横断プログラムのポイント



学科横断プログラムの学びのイメージ

学科横断プログラムは、2年次に登録します。所属する学科での学びに加え、学科横断プログラムに参加することで、幅広い知識と実践力を身に付け、目標とする職業に向けてキャリアの実現を目指します。



PROGRAM 1



「食品開発と店舗開発のプロ」を目指します。

食品開発と流通ビジネスプログラム

健康を増進し、生活を豊かにする「食」の業界は、景気に左右されません。「食品学」の基礎を学び、「消費者行動論」で“なぜ売れるか”を考え、「流通論」では売るための方法を学びましょう。

指定科目(例)	身に付ける能力
□食品学総論	□食品開発
□調理学	□流通マネジメント
□マーケティング論	□消費者理解
□ブランド戦略・商品開発論	□市場データ分析

卒業後のイメージ

- 食品メーカーでの商品開発担当者
- 外食産業でのメニュー開発者
- 流通業でのプライベートブランド開発担当者、店舗開発担当者、バイヤー、フロアマネージャー

指定プロジェクト



乳酸菌生産物質を含む機能性食品の商品コンセプト開発

地域や企業と協働して実際に学生視点からの食品開発や販売方法の提案を行います。

参加の際に優先する学科
メディア情報学科
社会マネジメント学科
健康栄養学科

PROGRAM 2



「対人サービスのプロ」を目指します。

観光ホスピタリティ・キャリアプログラム

観光は日本の主要産業の一つ。「語学」「ホスピタリティ」「マーケティング」を軸に地域と協働し、企画・発信まで実践します。おもてなしの心とビジネスの視点を磨き、観光業界で生きる実践力を将来のキャリアにつなげましょう。

指定科目(例)	身に付ける能力
□ホスピタリティ概論	□観光学に関する知識
□観光ビジネス論	□語学、グローバルスタディ、日本文化、ホスピタリティ、コミュニケーション・スキル
□テーブルコーディネート論	□マネジメント・スキル、ITスキル、マーケティング力
□フードツーリズム論	

卒業後のイメージ

- 旅行会社 □ホテル □テーマパーク
- 空港関連（キャビンアテンダント、グランドスタッフ）
- プライダグ・サービス等の対人サービス業

指定プロジェクト



「海外に子ども用車椅子を届けよう！」プロジェクト

観光振興などを通じた地域活性化活動を行います。

参加の際に優先する学科
国際コミュニケーション学科
メディア情報学科
社会マネジメント学科
地域クリエイション学科

PROGRAM 3



「サブカルのプロ」を目指します。

サブカルチャーと文化創造プログラム

日本のサブカルチャーのレベルは世界のトップクラスです。映像、コミック、ゲーム、芸能などの業界には、みなさんが力を発揮できるさまざまな仕事があります。

指定科目(例)	身に付ける能力
□サブカルチャーとメディア	□サブカルチャーに関する知識
□エンターテインメント産業論	□産業構造への理解
□ゲームメディア論	□イベントの企画・運営
□マンガ論	□創作理論

卒業後のイメージ

- コンテンツ制作のマネジメント
：映像、出版、広告、ゲーム、芸能、コンテンツ流通等
- イベント・プロデュース
：産業界でのプロモーション、地域活性化等

指定プロジェクト

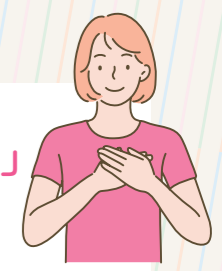


「メディアトークwith宮崎大祐監督 vol.1」

映画監督を招いてのトークイベントの企画・運営・広報に携わります。

参加の際に優先する学科
日本語日本文学科
国際コミュニケーション学科
メディア情報学科
社会マネジメント学科

PROGRAM 4



「ケアとサポートのプロ」を目指します。

こどもとこころ 発達支援プログラム

こどもが発達する上で大切なことは、安心して仲間と楽しめるインクルーシブな環境です。障害のある子を含め、一人ひとりの多様性を理解し、健康で充実した成人となることをケア・サポートできるような知識やスキルを実践的に学ぶことができます！

指定科目(例)	身に付ける能力
□特別支援教育・保育Ⅰ	□障害のあるこどもの保育・教育
□知的障害教育	□こどもからおとなの福祉と心理的ケアの基礎知識
□障害者・障害児心理学	□こどもの心と身体の基礎知識
□福祉心理学	

卒業後のイメージ

- インクルーシブ保育・教育
- 児童発達支援・放課後等デイサービス
- 巡回支援・相談支援・就労支援

指定プロジェクト



「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業（文部科学省）」

小学部・幼稚部でのボランティア活動のほか、「大学で学ぶ楽しみ発見プログラム」に参加できます。

参加の際に優先する学科
子ども教育学科
人間心理学